

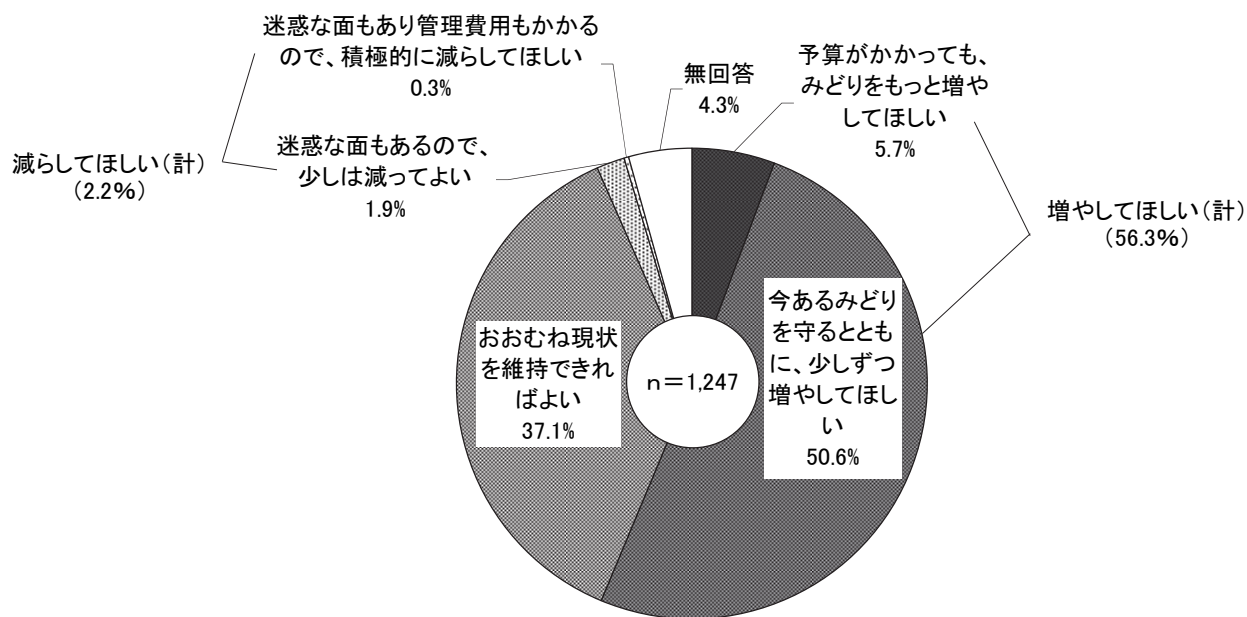
4 「みどり」について

(1) 練馬区のみどりについての考え

◇『増やしてほしい』は5割台半ば

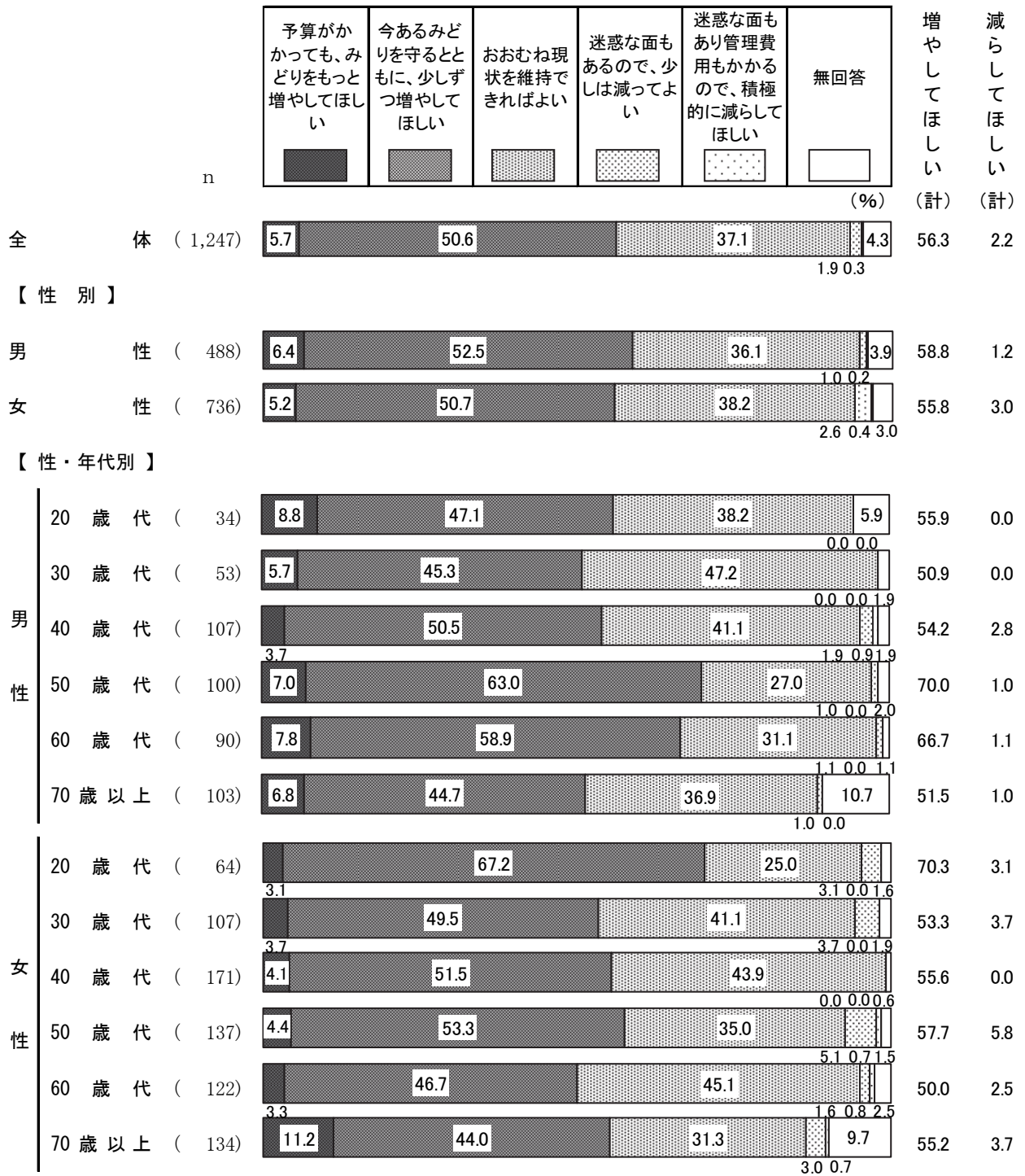
問28 練馬区のみどりについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)

図4-1-1 練馬区のみどりについての考え



練馬区のみどりについて聞いたところ、「今あるみどりを守るとともに、少しずつ増やしてほしい」(50.6%)が約5割で最も多く、これに「予算がかかっても、みどりをもっと増やしてほしい」(5.7%)を合わせた『増やしてほしい』(56.3%)は5割台半ばとなっている。また、「おおむね現状を維持できればよい」(37.1%)は4割近くとなっている。一方、「迷惑な面もあるのですが、少しは減ってよい」(1.9%)と「迷惑な面もあり管理費用もかかるので、積極的に減らしてほしい」(0.3%)を合わせた『減らしてほしい』(2.2%)は1割に満たない。(図4-1-1)

図4-1-2 練馬区のみどりについての考え—性別、性・年代別



性別にみると、『増やしてほしい』は男性の方が3.0ポイント高く、6割近くとなっている。

性・年代別にみると、『増やしてほしい』は女性20歳代と男性50歳代で約7割と多くなっており、それ以外でも5割以上を占めている。「おおむね現状を維持できればよい」は男性30歳代で5割近くと多くなっている。『減らしてほしい』は全ての性・年代別で1割未満となっている。(図4-1-2)

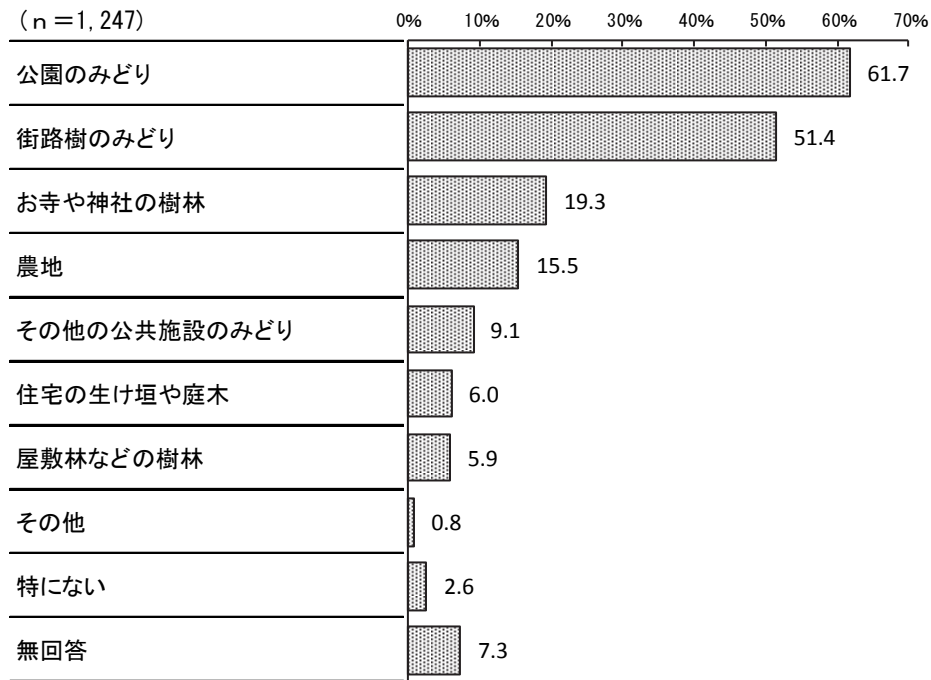
(2) 大切なみどりや減らしてほしくないみどり

◇「公園のみどり」が6割を超える

問29 あなたにとって大切なみどりや減らしてほしくないみどりは、主に何ですか。

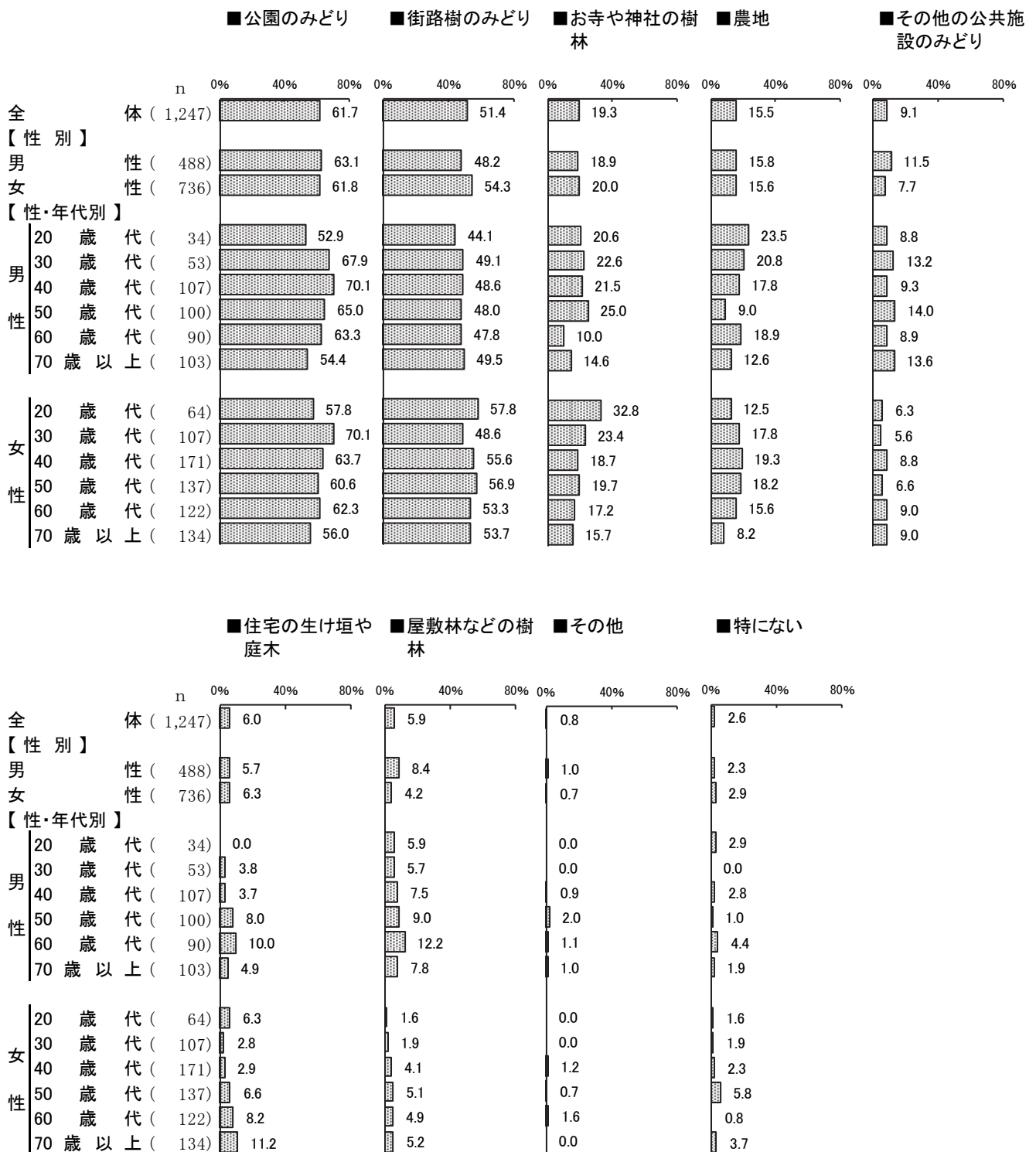
(○は2つ)

図4-2-1 大切なみどりや減らしてほしくないみどり



大切なみどりや減らしてほしくないみどりについて聞いたところ、「公園のみどり」(61.7%)が6割を超え最も多く、次いで「街路樹のみどり」(51.4%)、「お寺や神社の樹林」(19.3%)、「農地」(15.5%)などの順になっている。(図4-2-1)

図4-2-2 大切なみどりや減らしてほしくないみどりー性別、性・年代別



性別にみると、「街路樹のみどり」は女性の方が6.1ポイント高く、「その他の公共施設のみどり」は男性の方が3.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「公園のみどり」は男性40歳代と女性30歳代で約7割と多くなっている。「お寺や神社の樹林」は女性20歳代が3割を超え、他と比べ割合が高くなっている。(図4-2-2)

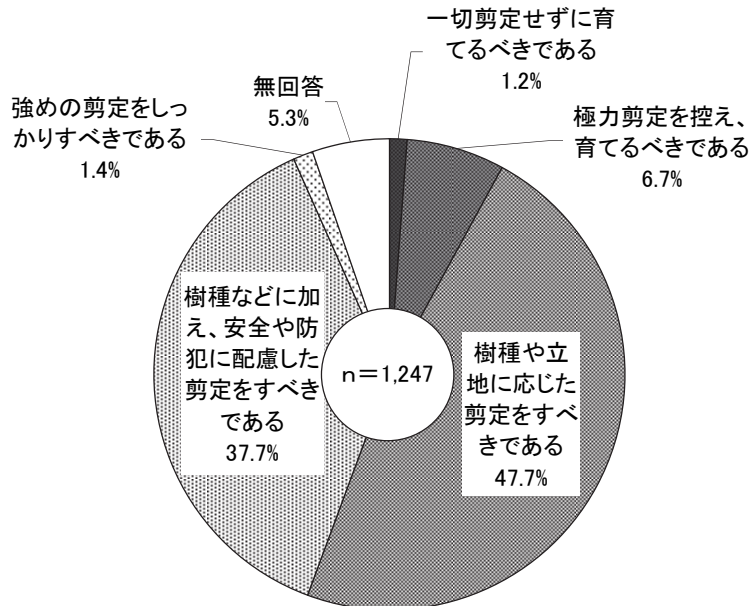
(3) 公共の樹木の剪定について

◇「樹種や立地に応じた剪定をすべきである」が5割近く

問30 練馬区の公園や街路樹といった公共の樹木の剪定について、どのように考えますか。

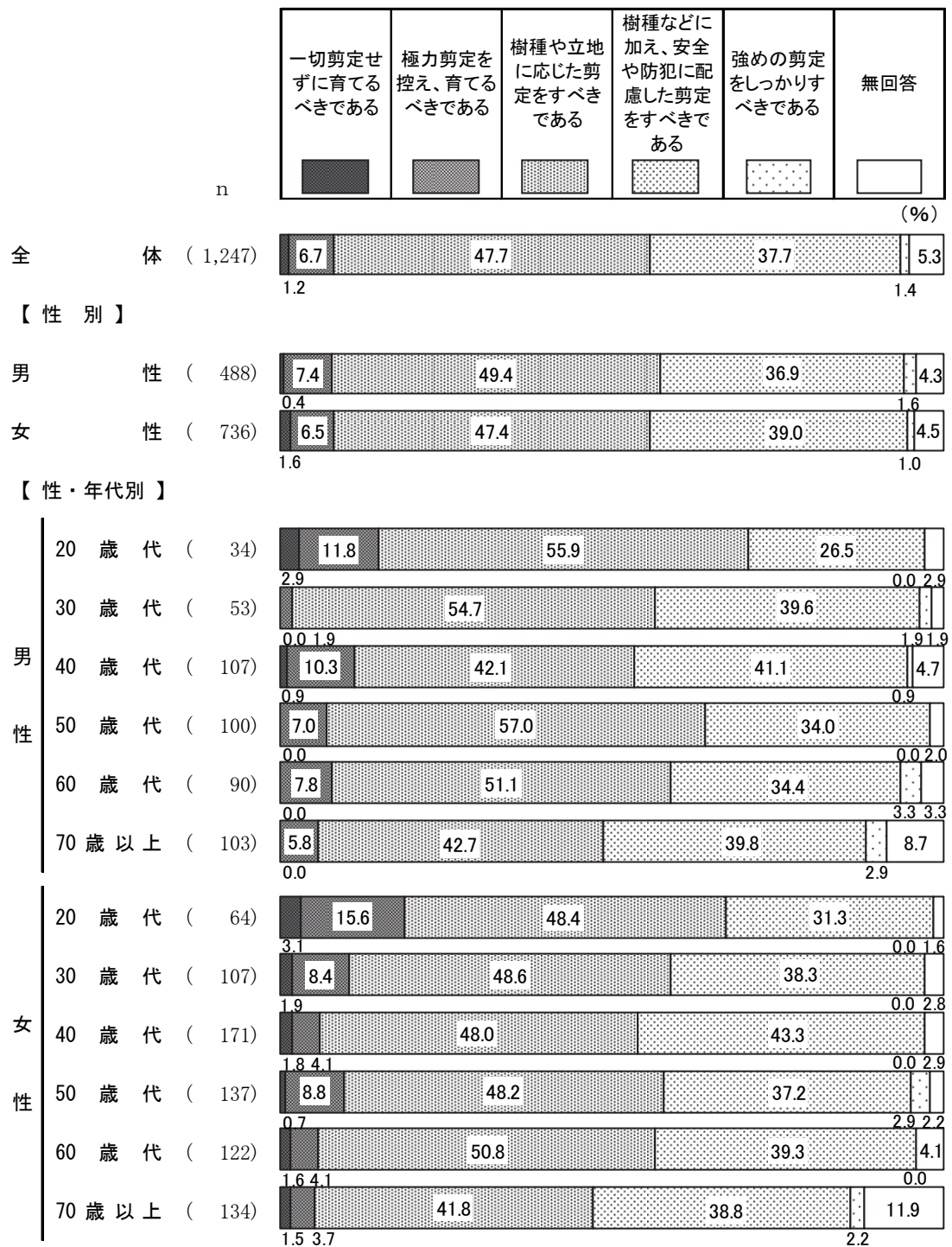
(○は1つ)

図4-3-1 公共の樹木の剪定について



公共の樹木の剪定について聞いたところ、「樹種や立地に応じた剪定をすべきである」(47.7%)が5割近くと最も多くなっている。次いで「樹種などに加え、安全や防犯に配慮した剪定をすべきである」(37.7%)、「極力剪定を控え、育てるべきである」(6.7%)、「強めの剪定をしっかりとすべきである」(1.4%)、「一切剪定せずに育てるべきである」(1.2%)の順になっている。(図4-3-1)

図4-3-2 公共の樹木の剪定について—性別、性・年代別



性別にみると、男女ともに「樹種や立地に応じた剪定をすべきである」が4割台後半、「樹種などに加え、安全や防犯に配慮した剪定をすべきである」が3割台後半となっている。

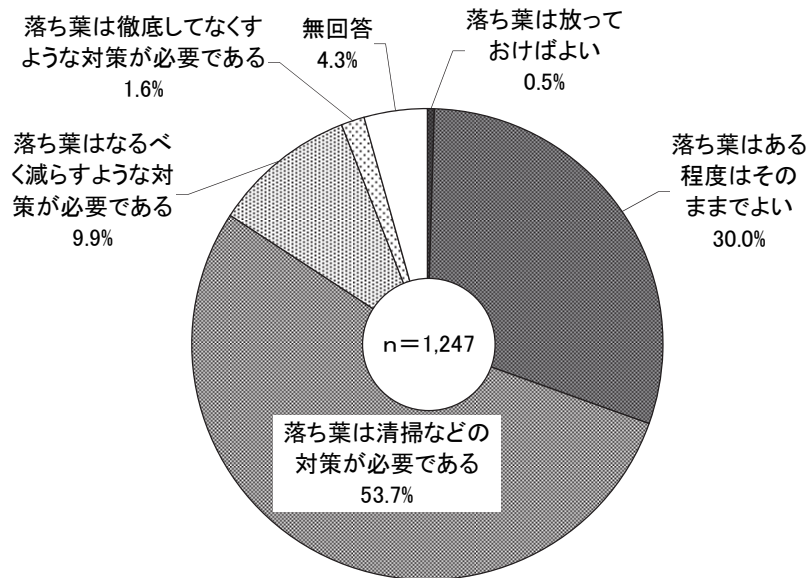
性・年代別にみると、「樹種や立地に応じた剪定をすべきである」はいずれも4割以上となっている。「樹種などに加え、安全や防犯に配慮した剪定をすべきである」は男性20歳代を除くすべての性・年代別で3割以上となっている。「極力剪定を控え、育てるべきである」は女性20歳代と男性20歳代・40歳代で1割台と、他に比べ割合が高くなっている。(図4-3-2)

(4) 公共の樹木の落ち葉対策について

◇「落ち葉は清掃などの対策が必要である」が5割を超える

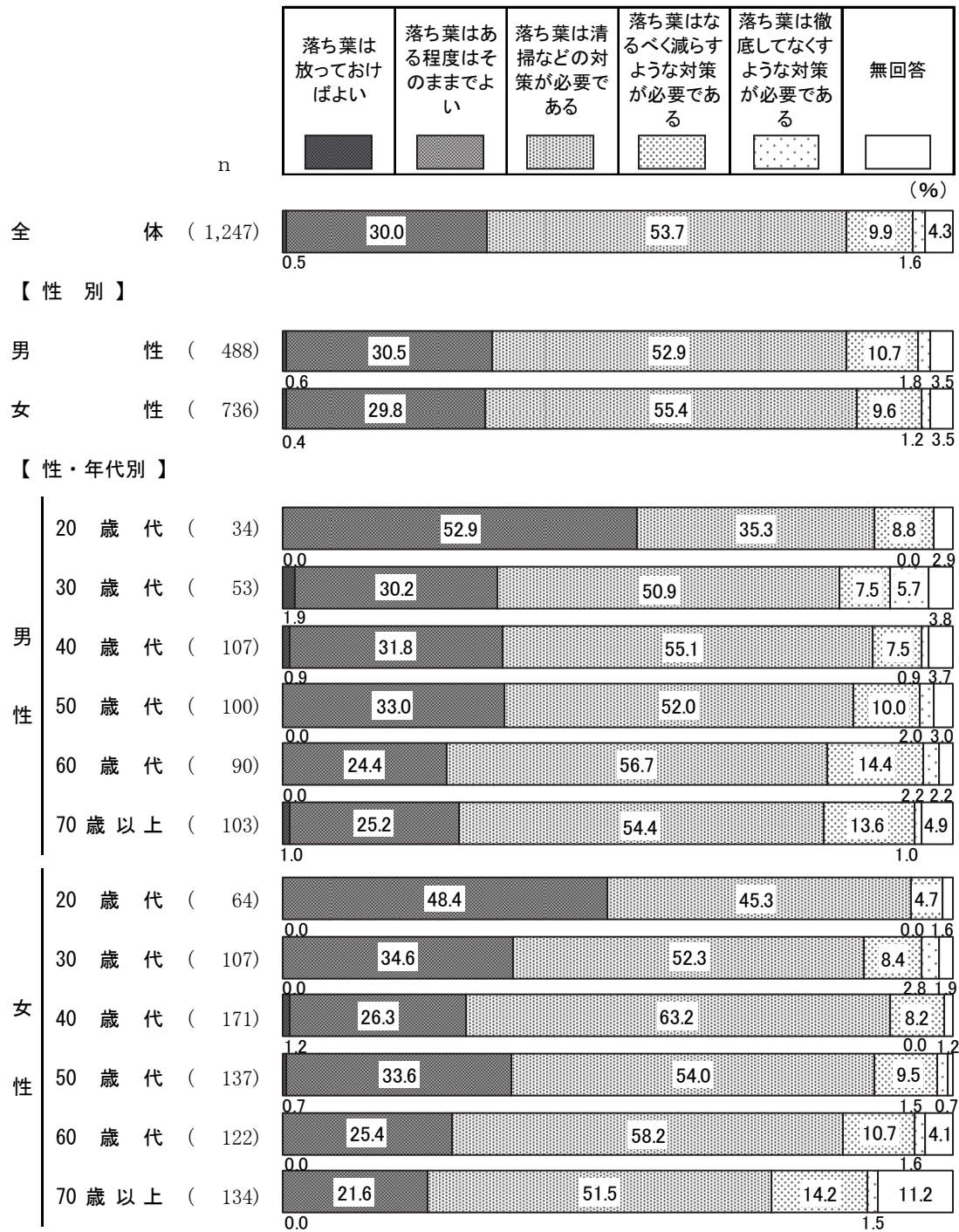
問31 練馬区の公園や街路樹といった公共の樹木の落ち葉について、どのように考えますか。
(○は1つ)

図4-4-1 公共の樹木の落ち葉対策について



公共の樹木の落ち葉対策について聞いたところ、「落ち葉は清掃などの対策が必要である」(53.7%)が5割を超え最も多くなっている。次いで「落ち葉はある程度はそのままよい」(30.0%)、「落ち葉はなるべく減らすような対策が必要である」(9.9%)、「落ち葉は徹底してなくすような対策が必要である」(1.6%)、「落ち葉は放っておけばよい」(0.5%)の順になっている。(図4-4-1)

図4-4-2 公共の樹木の落ち葉対策について—性別、性・年代別



性別にみると、男女ともに「落ち葉は清掃などの対策が必要である」が5割台と多くなっている。

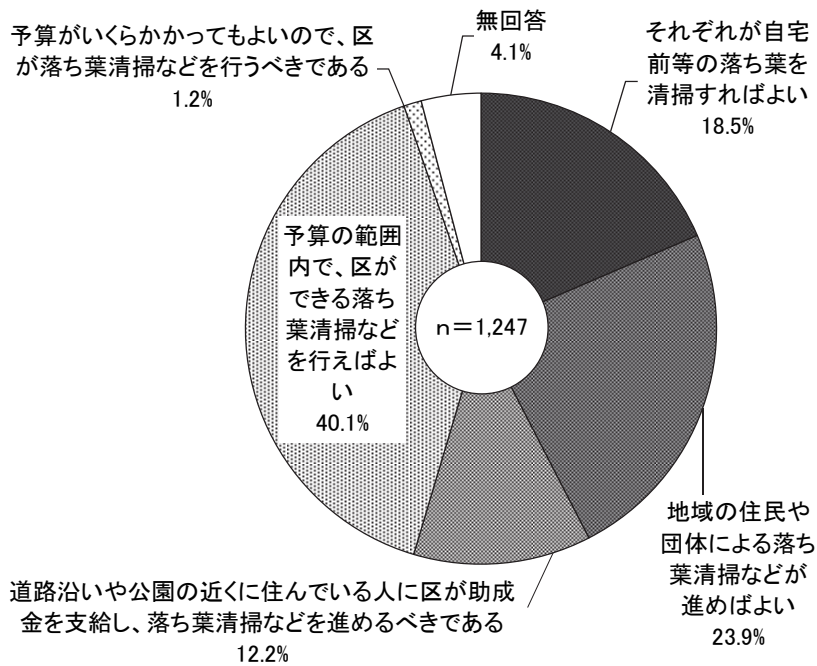
性・年代別にみると、「落ち葉はある程度はそのままよい」は男性20歳代で5割を超え、女性20歳代で5割近くと多くなっている。「落ち葉は清掃などの対策が必要である」は男女ともに20歳代を除くすべての性・年代別で5割以上となっている。(図4-4-2)

(5) 公共の樹木の落ち葉清掃等について

◇「予算の範囲内で、区ができる落ち葉清掃などを行えばよい」が約4割

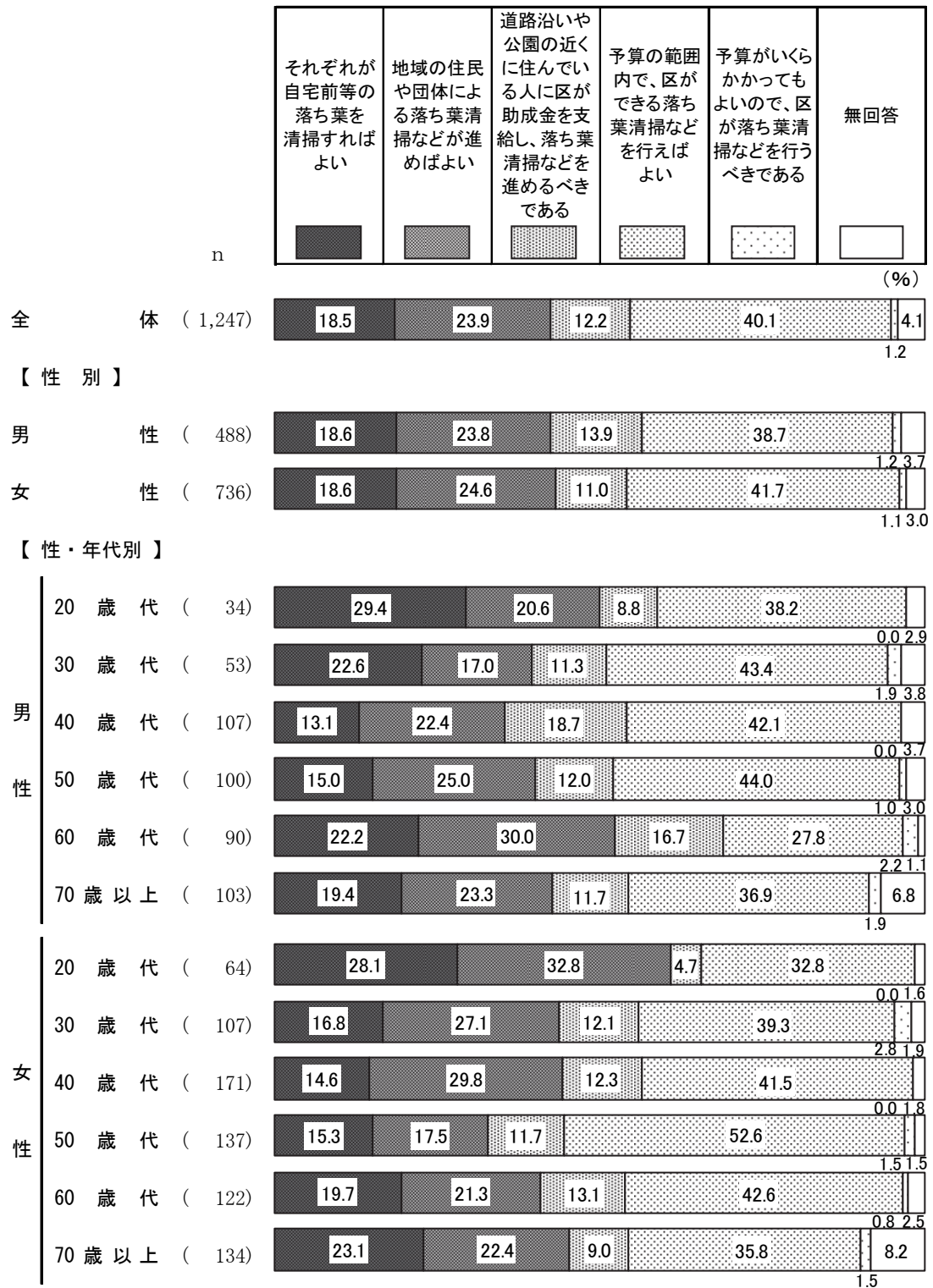
問32 練馬区の公園や街路樹といった公共の樹木の落ち葉の清掃等について、どのように考えますか。(○は1つ)

図4-5-1 公共の樹木の落ち葉清掃等について



公共の樹木の落ち葉清掃等について聞いたところ、「予算の範囲内で、区ができる落ち葉清掃などを行えばよい」(40.1%)が約4割で最も多くなっている。次いで、「地域の住民や団体による落ち葉清掃などが進めばよい」(23.9%)、「それぞれが自宅前等の落ち葉を清掃すればよい」(18.5%)、「道路沿いや公園の近くに住んでいる人に区が助成金を支給し、落ち葉清掃などを進めるべきである」(12.2%)、「予算がいくらかかってもよいので、区が落ち葉清掃などを行うべきである」(1.2%)の順になっている。(図4-5-1)

図 4-5-2 公共の樹木の落ち葉清掃等について—性別、性・年代別



性別にみると、「予算の範囲内で、区ができる落ち葉清掃などを行えばよい」は女性の方が3.0ポイント高く、4割を超えている。

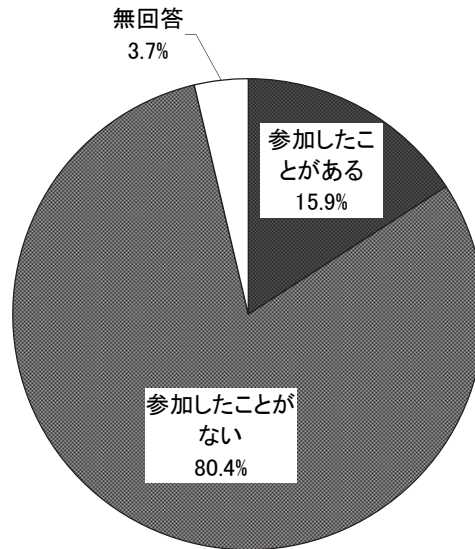
性・年代別にみると、「予算の範囲内で、区ができる落ち葉清掃などを行えばよい」は女性50歳代で5割を超え多くなっている。「地域の住民や団体による落ち葉清掃などが進めばよい」は女性20歳代と男性60歳代で3割台前半と多くなっている。(図4-5-2)

(6-1) 地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加の有無

◇「参加したことがない」が約8割

問33-1 地域の住民や団体による落ち葉清掃に参加したことがありますか。(○は1つ)

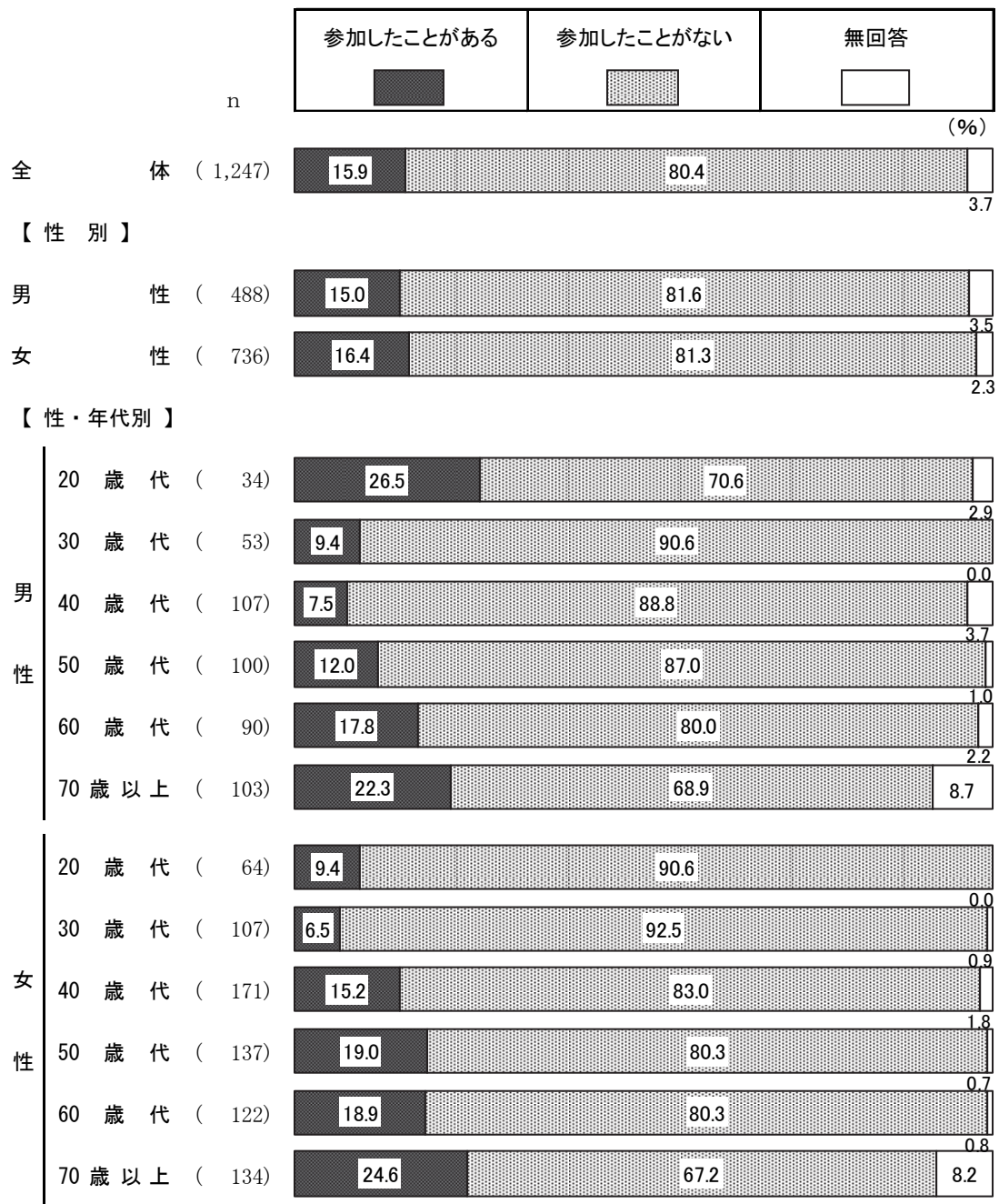
図4-6-1 地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加の有無



地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加の有無を聞いたところ、「参加したことがない」(80.4%)が約8割となっている。一方、「参加したことがある」(15.9%)は1割台半ばとなっている。

(図4-6-1)

図4-6-2 地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加の有無－性別、性・年代別



性別にみると、男女ともに「参加したことがない」が8割を超え、「参加したことがある」は1割台半ばにとどまっている。

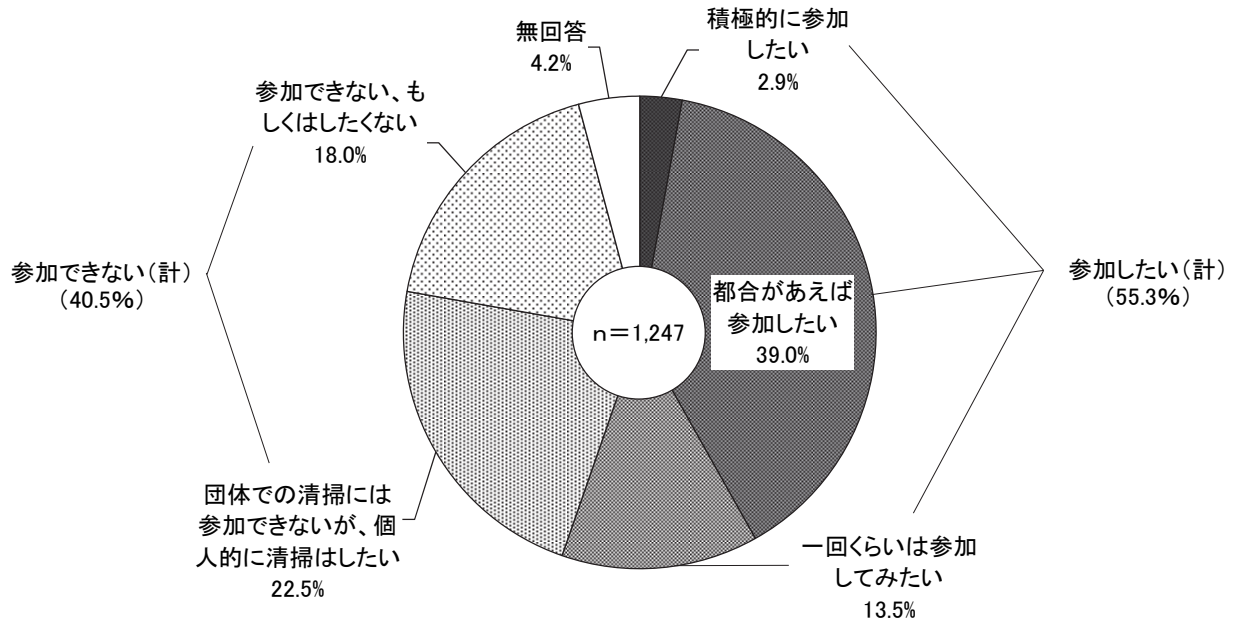
性・年代別にみると、「参加したことがある」は男性20歳代と女性70歳以上で2割台半ば、男性70歳以上で2割を超えている。「参加したことがない」は男性30歳代と女性20歳代・30歳代で9割台前半となっている。(図4-6-2)

(6-2) 地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加意向

◇「都合があれば参加したい」が約4割、『参加したい』は5割台半ば

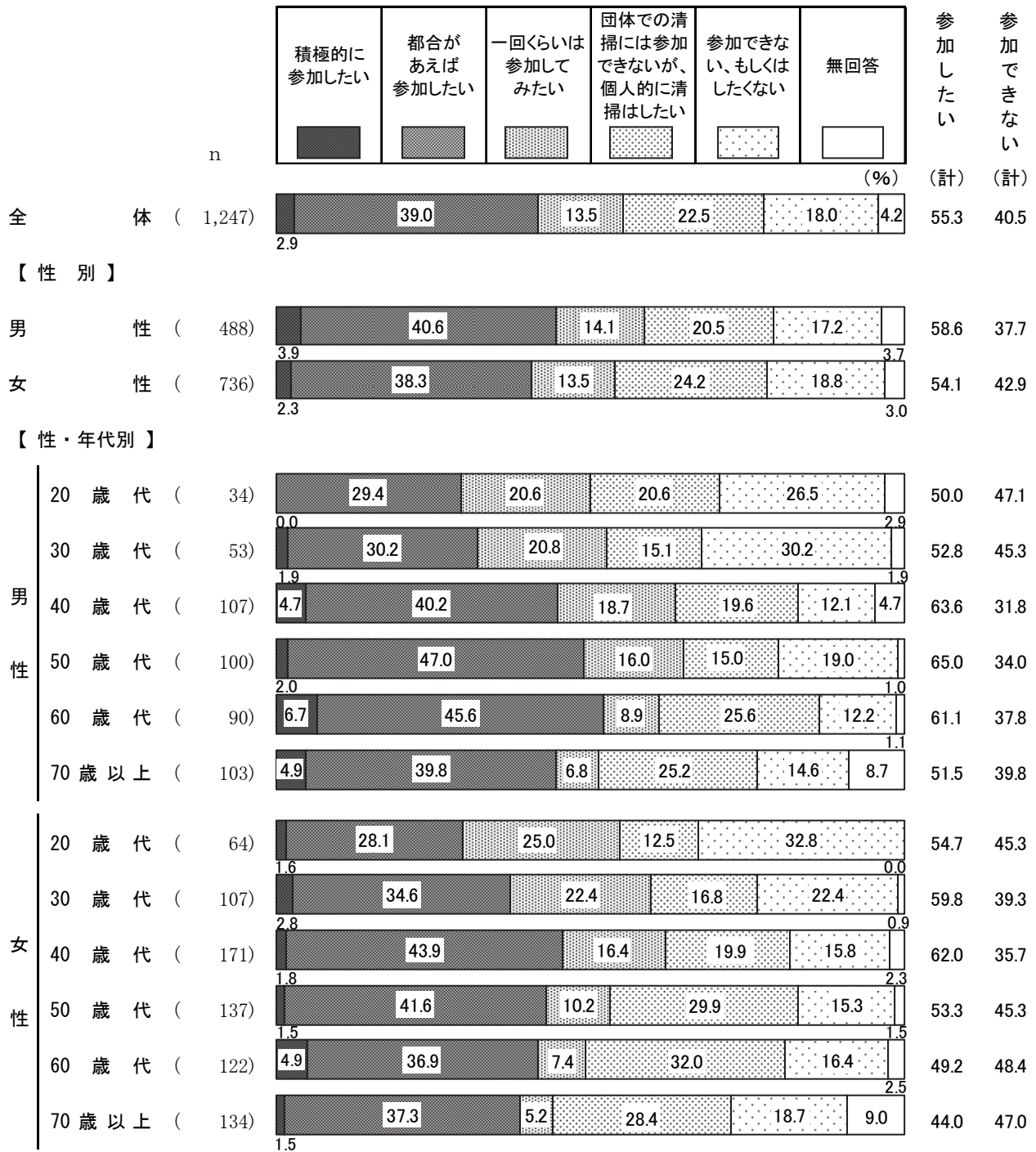
問33-2 地域の住民や団体による落ち葉清掃に今後参加したいと思いますか。(○は1つ)

図4-6-3 地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加意向



地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加意向を聞いたところ、「都合があれば参加したい」(39.0%)が約4割と最も多く、それに「一回くらいは参加してみたい」(13.5%)と「積極的に参加したい」(2.9%)を合わせた『参加したい』(55.3%)は5割台半ばとなっている。一方、「団体での清掃には参加できないが、個人的に清掃はしたい」(22.5%)と「参加できない、もしくはしたくない」(18.0%)を合わせた『参加できない』(40.5%)は約4割となっている。(図4-6-3)

図4-6-4 地域の住民や団体による落ち葉清掃への参加意向—性別、性・年代別



性別にみると、「都合があえば参加したい」は男性の方が2.3ポイント高く約4割、「団体での清掃には参加できないが、個人的に清掃はしたい」は女性の方が3.7ポイント高く2割台半ばとなっている。

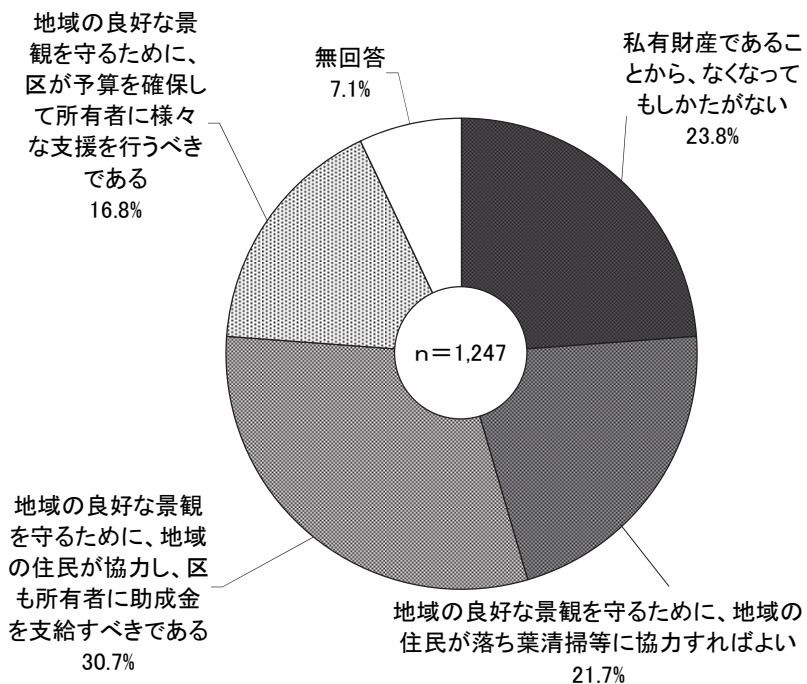
性・年代別にみると、「都合があえば参加したい」は男女ともに20歳代を除くすべての年代で3割以上と多くなっている。「団体での清掃には参加できないが、個人的に清掃はしたい」は女性60歳代で3割を超え、「参加できない、もしくはしたくない」は女性20歳代と男性30歳代で3割台前半と、他より割合が高くなっている。(図4-6-4)

(7) 民有地のみどりの保全について

◇「地域の良好な景観を守るために、地域の住民が協力し、区も所有者に助成金を支給すべきである」が約3割

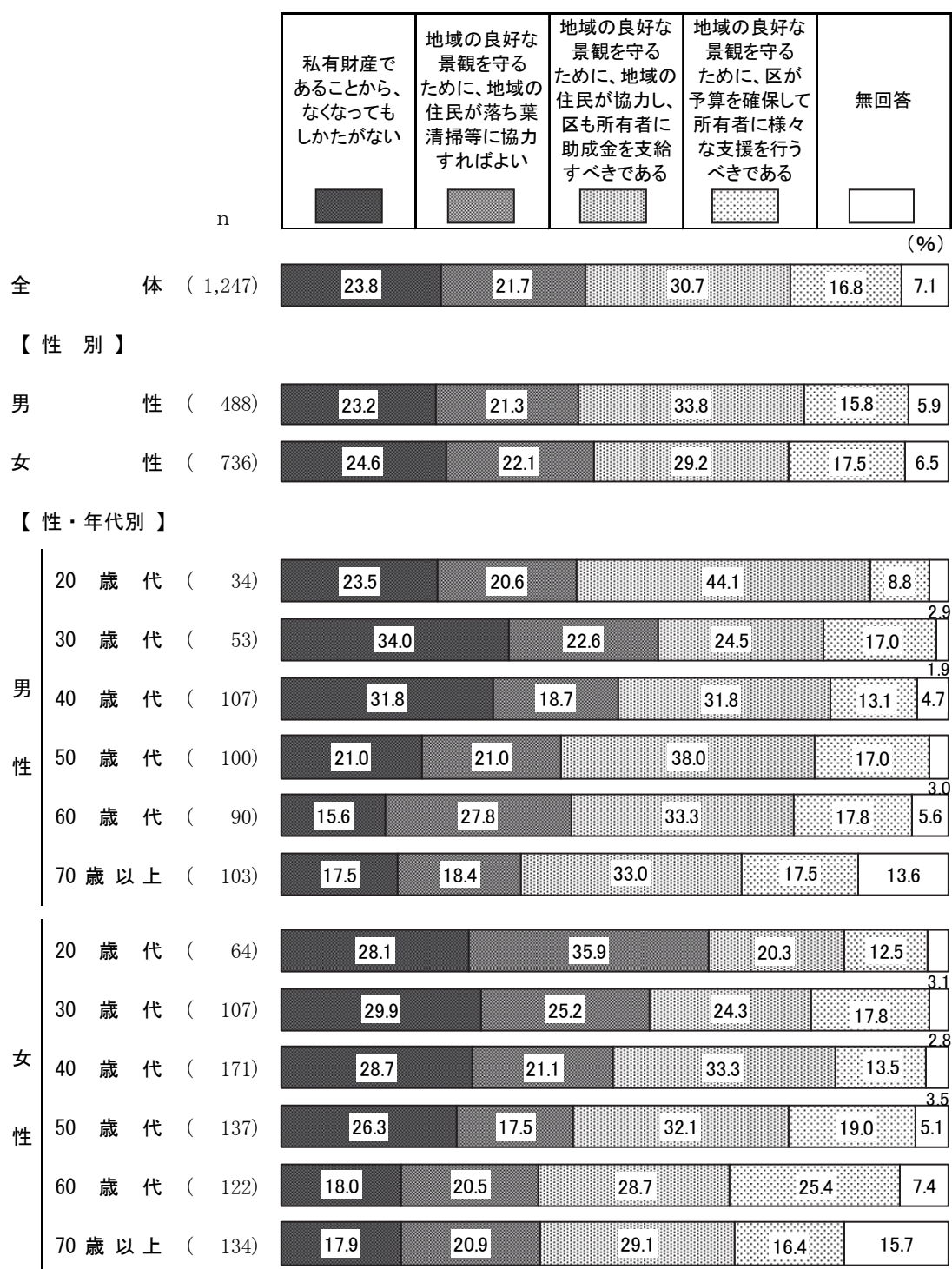
問34 練馬らしい景観を伝えるみどりとして、民有地の屋敷林や大木があります。こうしたみどりを個人の力だけで維持するには、剪定や落ち葉清掃などが大きな負担となっています。民有地のみどりの保全について、あなたはどのように考えますか。(〇は1つ)

図4-7-1 民有地のみどりの保全について



民有地のみどりの保全について聞いたところ、「地域の良好な景観を守るために、地域の住民が協力し、区も所有者に助成金を支給すべきである」(30.7%)が約3割で最も多くなっている。次いで「私有財産であることから、なくなってもしかたがない」(23.8%)、「地域の良好な景観を守るために、地域の住民が落ち葉清掃等に協力すればよい」(21.7%)、「地域の良好な景観を守るために、区が予算を確保して所有者に様々な支援を行うべきである」(16.8%)の順になっている。(図4-7-1)

図 4-7-2 民有地のみどりの保全について—性別、性・年代別



性別にみると、「地域の良好な景観を守るために、地域の住民が協力し、区も所有者に助成金を支給すべきである」は男性の方が4.6ポイント高く、3割を超えている。

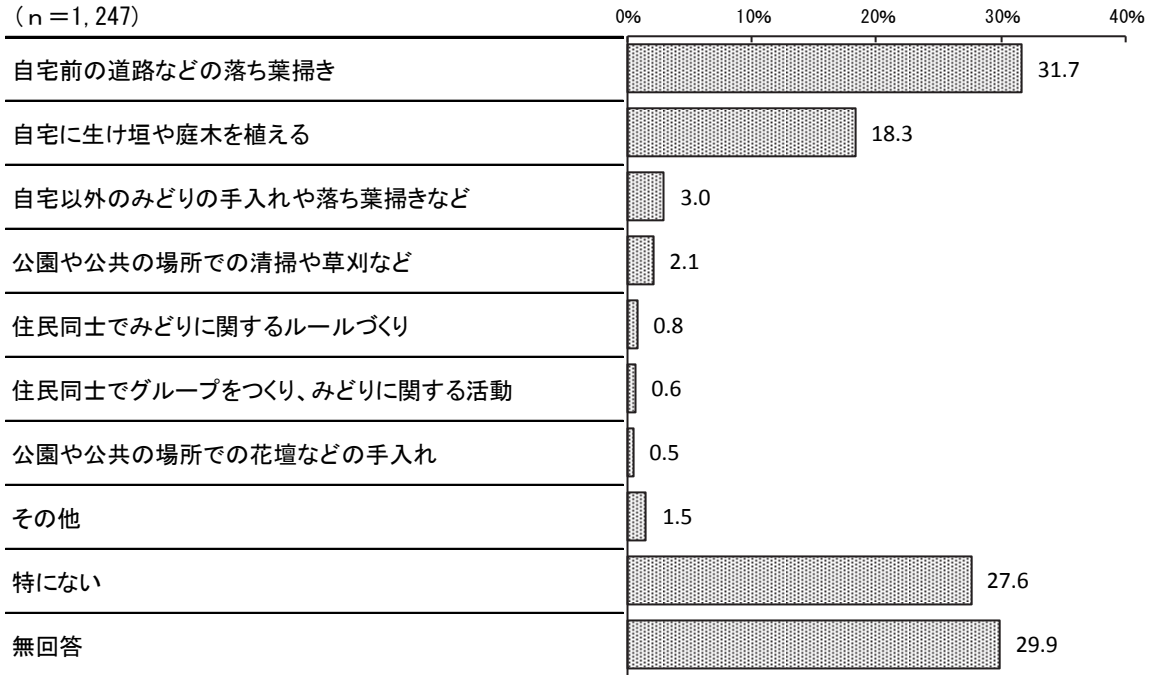
性・年代別にみると、「地域の良好な景観を守るために、地域の住民が協力し、区も所有者に助成金を支給すべきである」は男性20歳代で4割台半ばと多くなっている。また「私有財産であることから、なくなってもしかたがない」は男性30歳代で、「地域の良好な景観を守るために、地域の住民が落ち葉清掃等に協力すればよい」は女性20歳代で、それぞれ3割台半ばと多くなっている。(図4-7-2)

(8-1) みどりの豊かなまちづくりのために実践していること

◇「自宅前の道路などの落ち葉掃き」が3割を超える

問35-1 みどりの豊かなまちづくりのために、あなたがすでに実践していることはありますか。あてはまるものを下の選択肢から全て選び、番号を回答欄に記入してください。

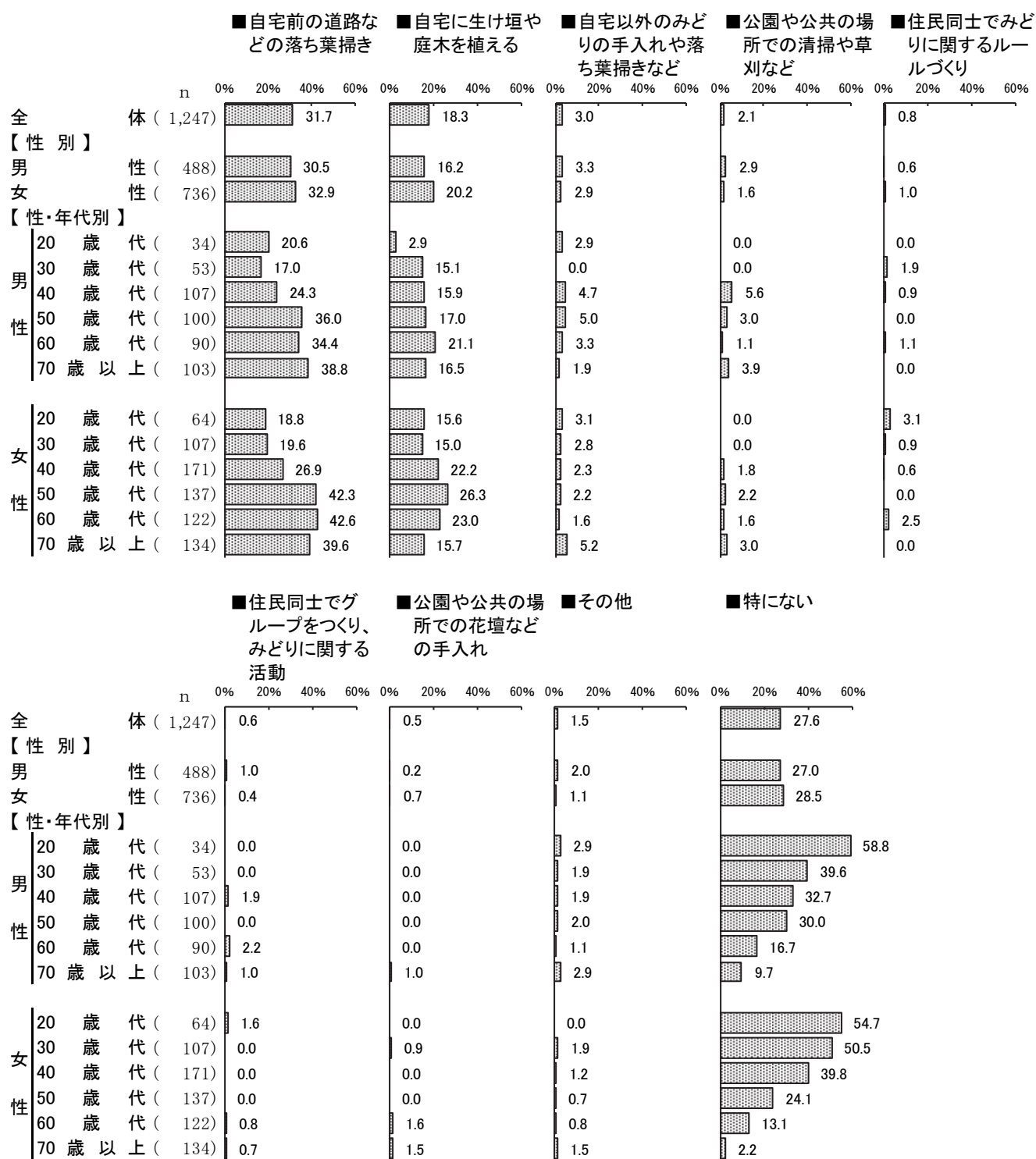
図4-8-1 みどりの豊かなまちづくりのために実践していること



みどりの豊かなまちづくりのために実践していることを聞いたところ、「自宅前の道路などの落ち葉掃き」(31.7%)が3割を超え最も多くなっている。次いで「自宅に生け垣や庭木を植える」(18.3%)、「自宅以外のみどりの手入れや落ち葉掃きなど」(3.0%)、「公園や公共の場所での清掃や草刈など」(2.1%)などの順になっている。一方、「特にない」(27.6%)は3割近くとなっている。

(図4-8-1)

図4-8-2 みどりの豊かなまちづくりのために実践していること－性別、性・年代別



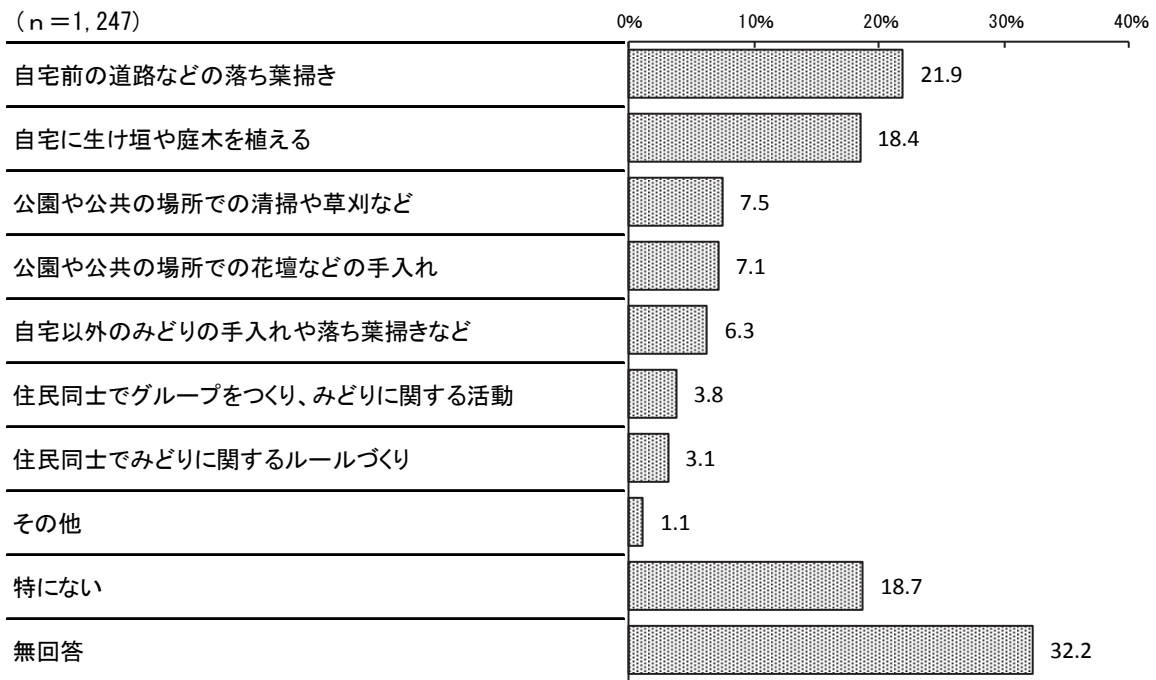
性別にみると、男女ともに「自宅前の道路などの落ち葉掃き」は3割前半と多くなっている。また「自宅に生け垣や庭木を植える」は女性の方が4.0ポイント高く、約2割となっている。

性・年代別にみると、「自宅前の道路などの落ち葉掃き」は女性50歳代・60歳代で4割を超え多くなっている。一方、「特にない」は男女ともに年代が低いほど割合が高く、男性20歳代と女性20歳代・30歳代で5割以上となっている。(図4-8-2)

(8-2) みどりの豊かなまちづくりのためにしてみたいこと、または継続したいこと
 ◇「自宅前の道路などの落ち葉掃き」が2割を超える

問35-2 みどりの豊かなまちづくりのために、あなたがしてみたいこと、または今後も引き続き行いたいことはありますか。あてはまるものを下の選択肢から全て選び、番号を回答欄に記入してください。

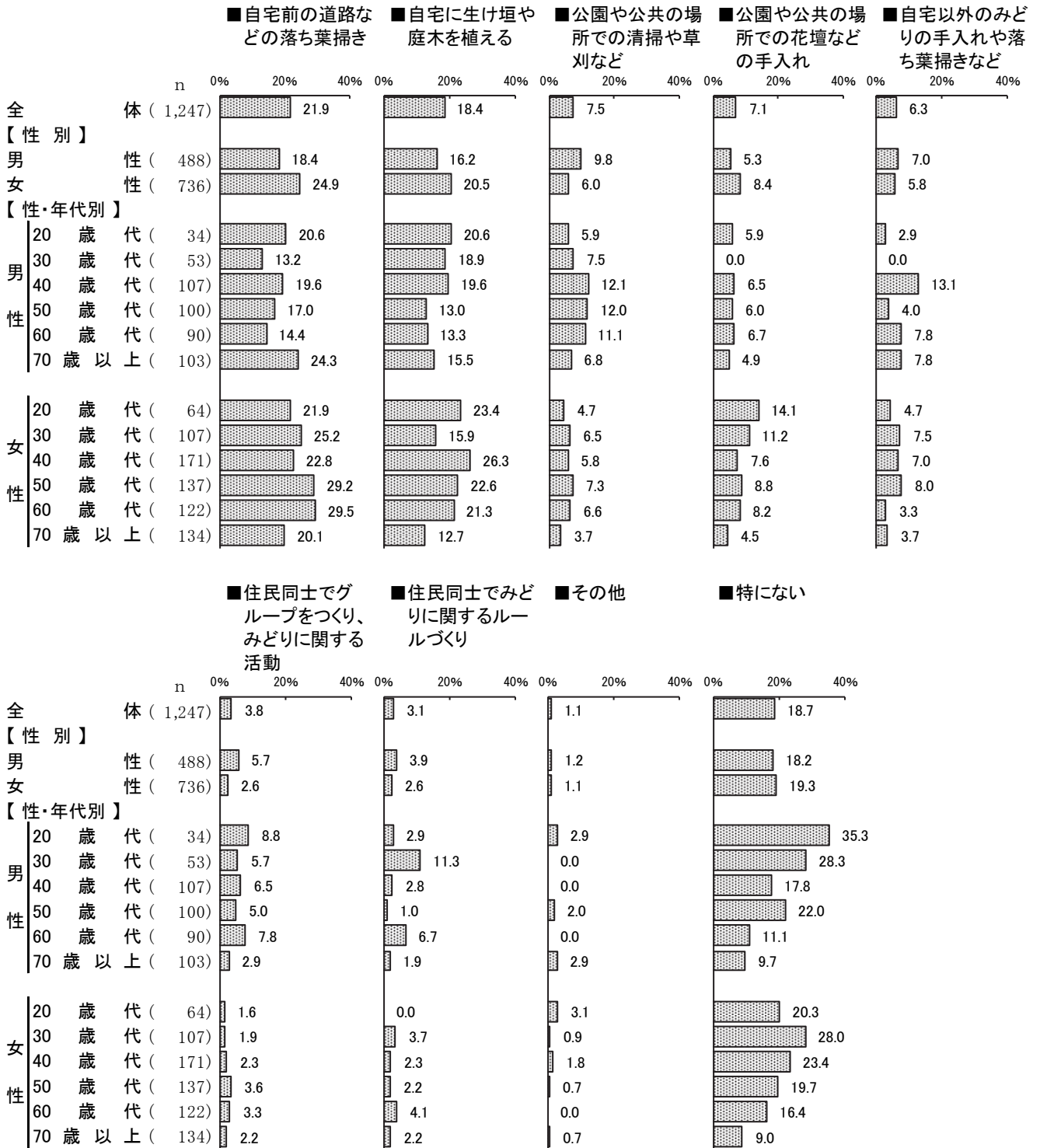
図4-8-3 みどりの豊かなまちづくりのためにしてみたいこと、または継続したいこと



みどりの豊かなまちづくりのためにしてみたいこと、または継続したいことを聞いたところ、「自宅前の道路などの落ち葉掃き」(21.9%)が2割を超え最も多くなっている。次いで「自宅に生け垣や庭木を植える」(18.4%)、「公園や公共の場所での清掃や草刈など」(7.5%)、「公園や公共の場所での花壇などの手入れ」(7.1%)などの順になっている。(図4-8-3)

図4-8-4 みどりの豊かなまちづくりのためにしてみたいこと、または継続したいこと

—性別、性・年代別



性別にみると、「自宅前の道路などの落ち葉掃き」は女性の方が6.5ポイント高く2割台半ば、「自宅に生け垣や庭木を植える」は女性の方が4.3ポイント高く約2割となっている。

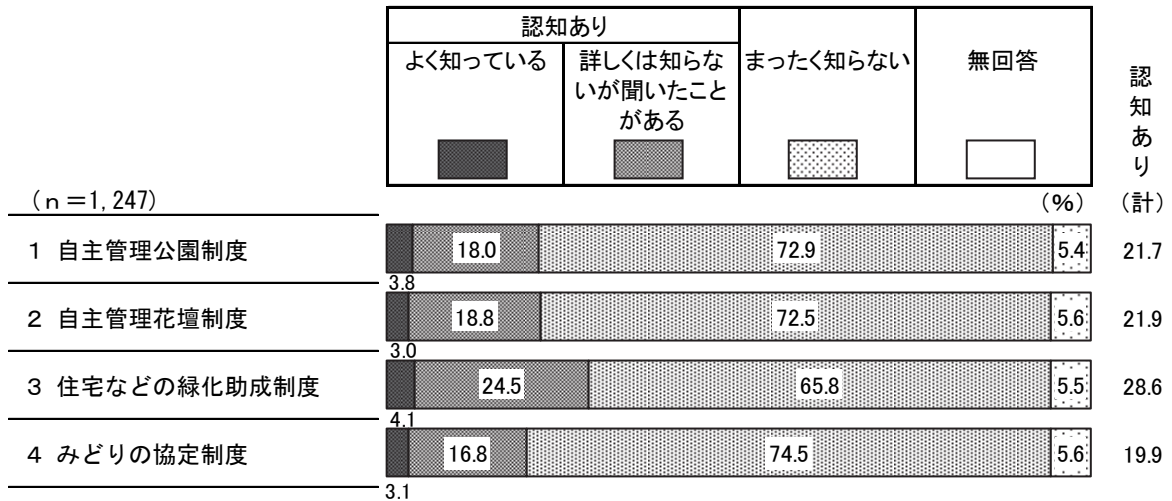
性・年代別にみると、「自宅前の道路などの落ち葉掃き」は女性50歳代・60歳代で約3割、女性30歳代と男性70歳以上で2割台半ばとなっている。(図4-8-4)

(9-1) 練馬区が実施している事業の、みどりに関する各制度の認知度

◇「住宅などの緑化助成制度」は『認知あり』が3割近く

問36-1 現在、練馬区では次のような事業を実施しています。各制度について、あなたはどの程度知っていますか。(各項目 ○は1つ)

図4-9-1 練馬区が実施している事業の、みどりに関する各制度の認知度

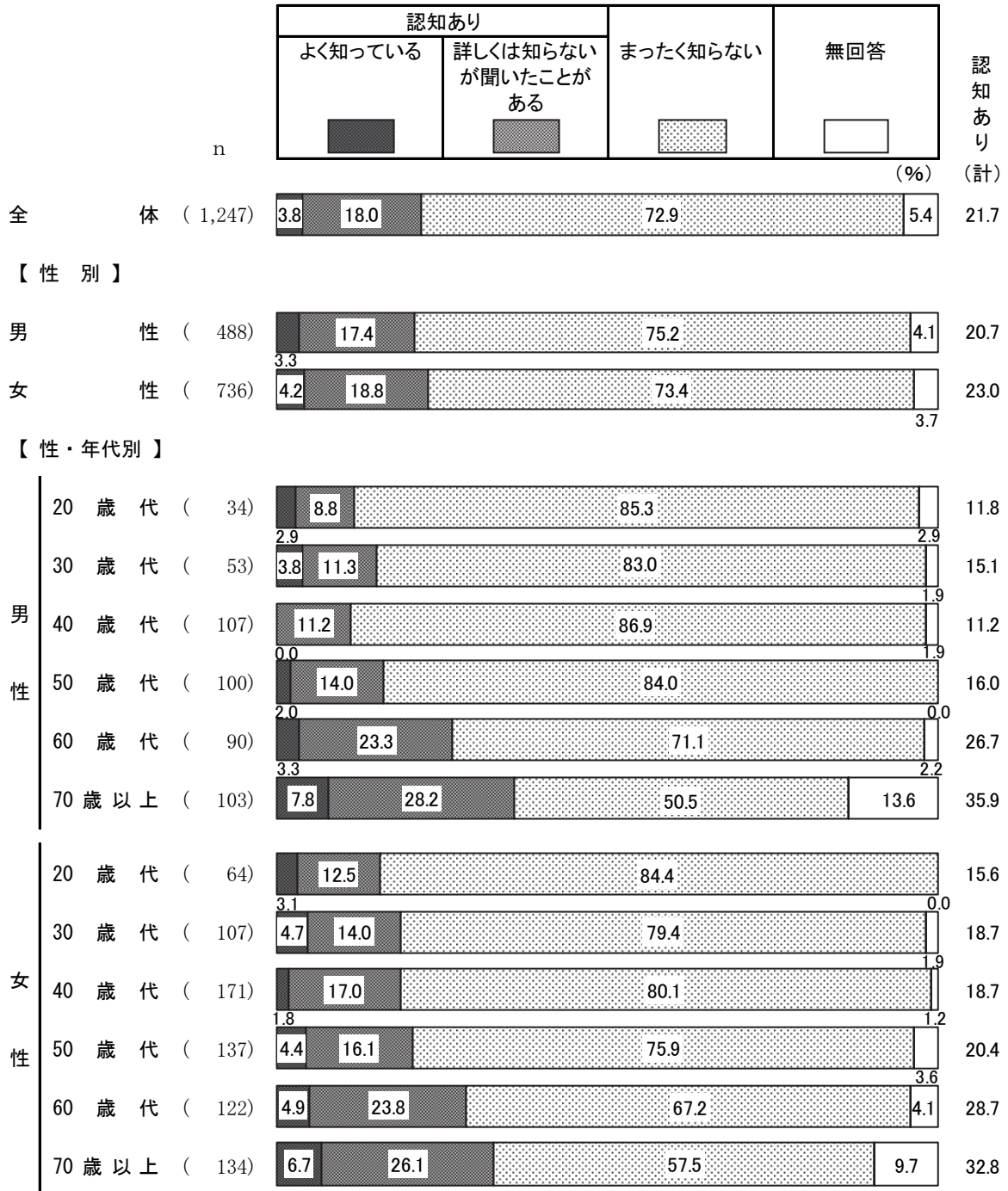


練馬区が実施している事業の、みどりに関する各制度の認知度について聞いたところ、「よく知っている」と「詳しくは知らないが聞いたことがある」を合わせた『認知あり』は、「住宅などの緑化助成制度」(28.6%)で3割近くとなっている。一方、「まったく知らない」は「みどりの協定制度」(74.5%)、「自主管理公園制度」(72.9%)、「自主管理花壇制度」(72.5%)で7割台前半となっている。

(図4-9-1)

図 4-9-2 練馬区が実施している事業の、みどりに関する各制度の認知度—性別、性・年代別

1 自主管理公園制度



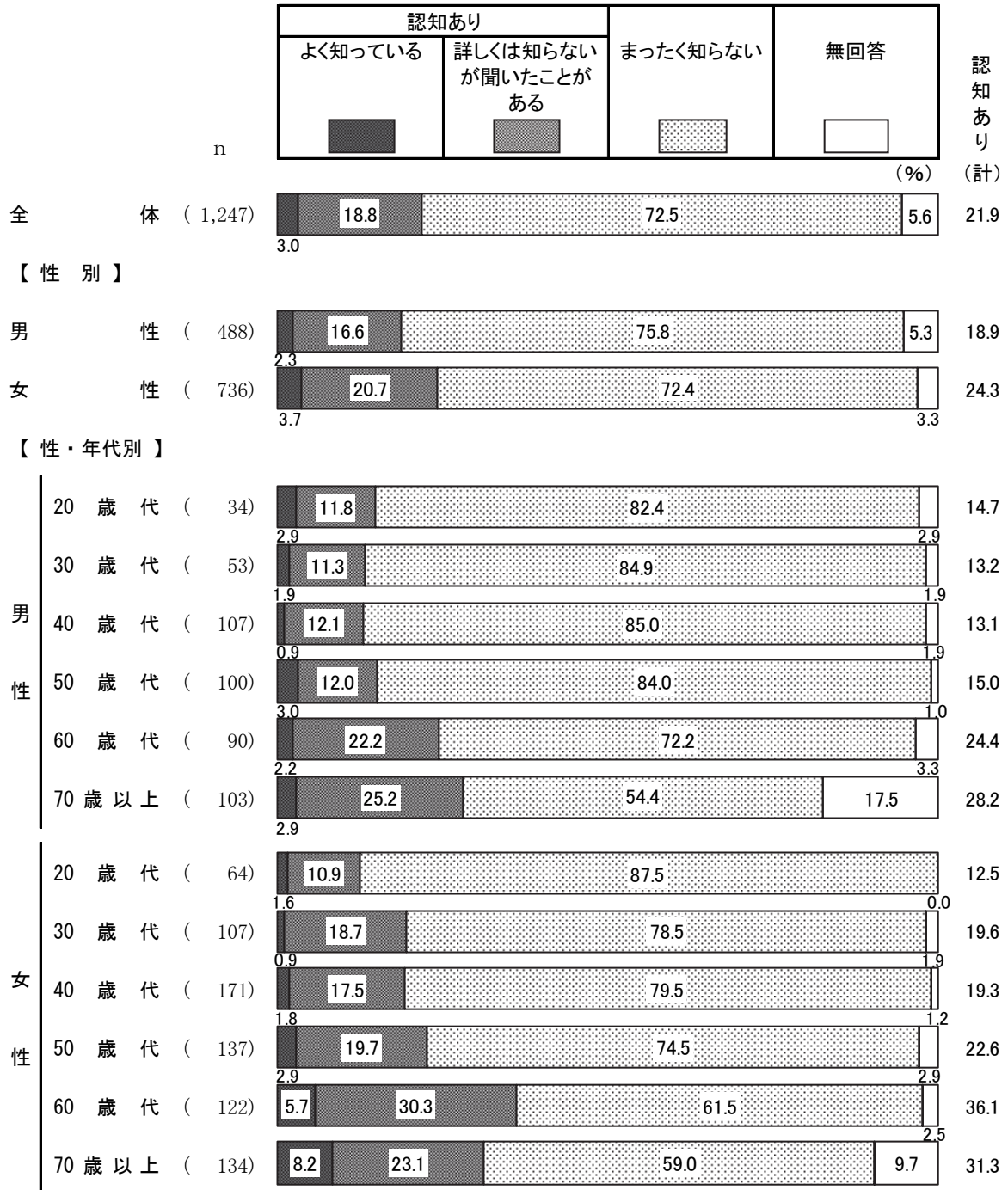
「自主管理公園制度」の認知度を、性別にみると、『認知あり』は女性の方が2.3ポイント高く、2割を超えている。

性・年代別にみると、『認知あり』は男性70歳以上で3割台半ば、女性70歳以上で3割を超えている。

(図 4-9-2)

図4-9-3 練馬区が実施している事業の、みどりに関する各制度の認知度—性別、性・年代別

2 自主管理花壇制度

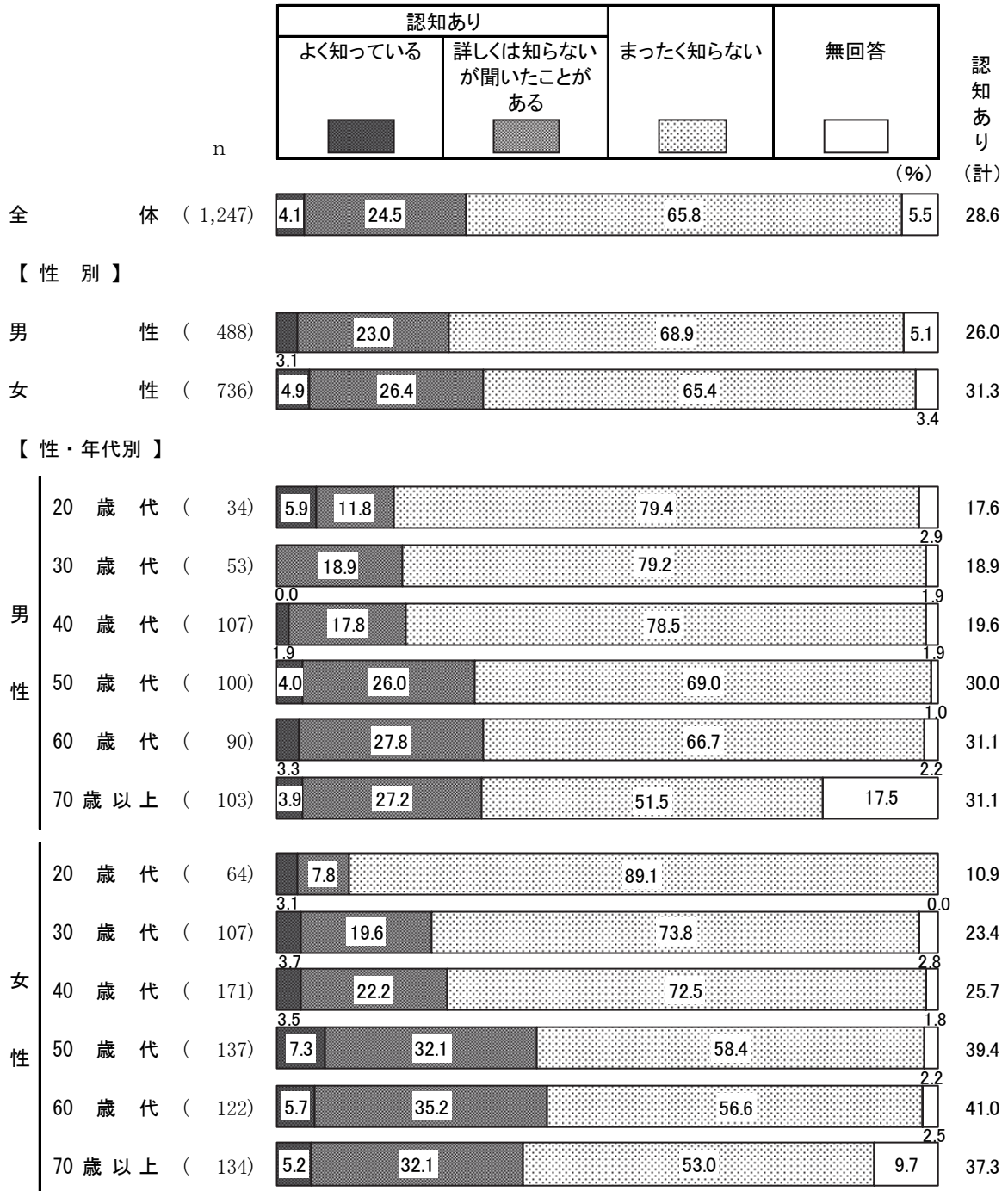


「自主管理花壇制度」の認知度を、性別にみると、『認知あり』は女性の方が5.4ポイント高く、2割台半ばとなっている。

性・年代別にみると、『認知あり』は女性60歳代で3割代半ば、男性70歳以上で3割近くとなっている。(図4-9-3)

図 4-9-4 練馬区が実施している事業の、みどりに関する各制度の認知度—性別、性・年代別

3 住宅などの緑化助成制度



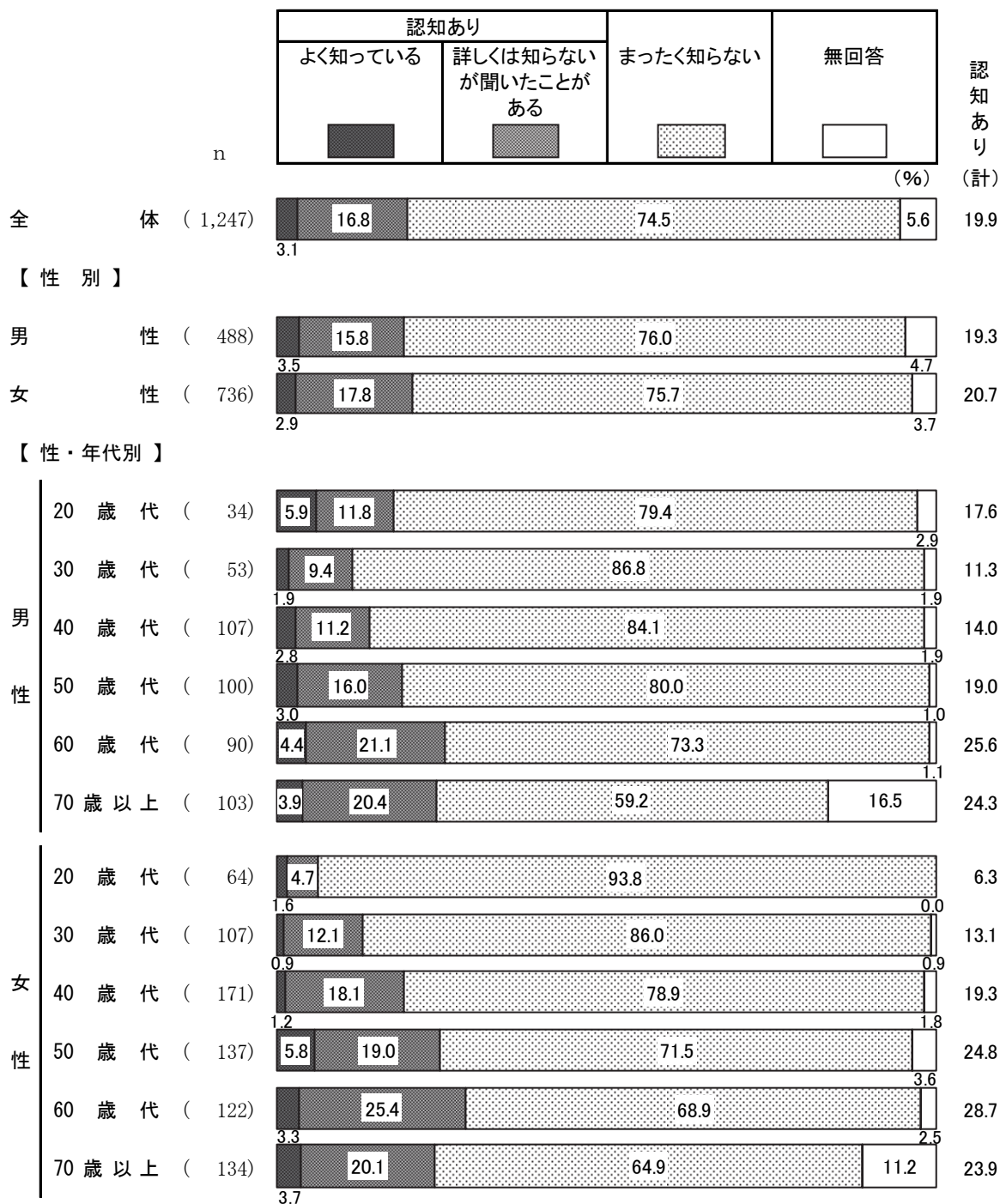
「住宅などの緑化助成制度」の認知度を、性別にみると、『認知あり』は女性の方が5.3ポイント高く、3割を超えている。

性・年代別にみると、『認知あり』は女性60歳代で4割を超え、女性50歳代で約4割となっている。

(図 4-9-4)

図4-9-5 練馬区が実施している事業の、みどりに関する各制度の認知度—性別、性・年代別

4 みどりの協定制度



「みどりの協定制度」の認知度を、性別にみると、『認知あり』は男女ともに約2割となっている。

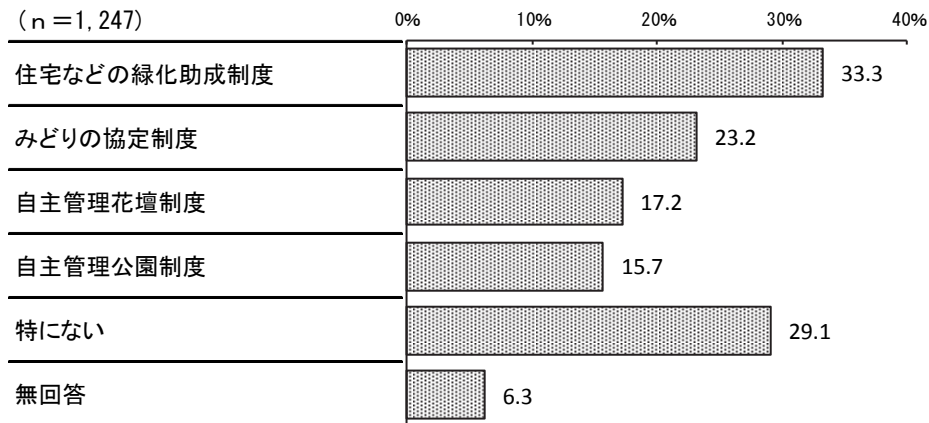
性・年代別にみると、『認知あり』は女性60歳代で3割近く、男性60歳代以上と女性50歳代で2割台半ばとなっている。(図4-9-5)

(9-2) 練馬区が実施している、みどりに関する事業のうち興味のある制度

◇「住宅などの緑化助成制度」が3割を超える

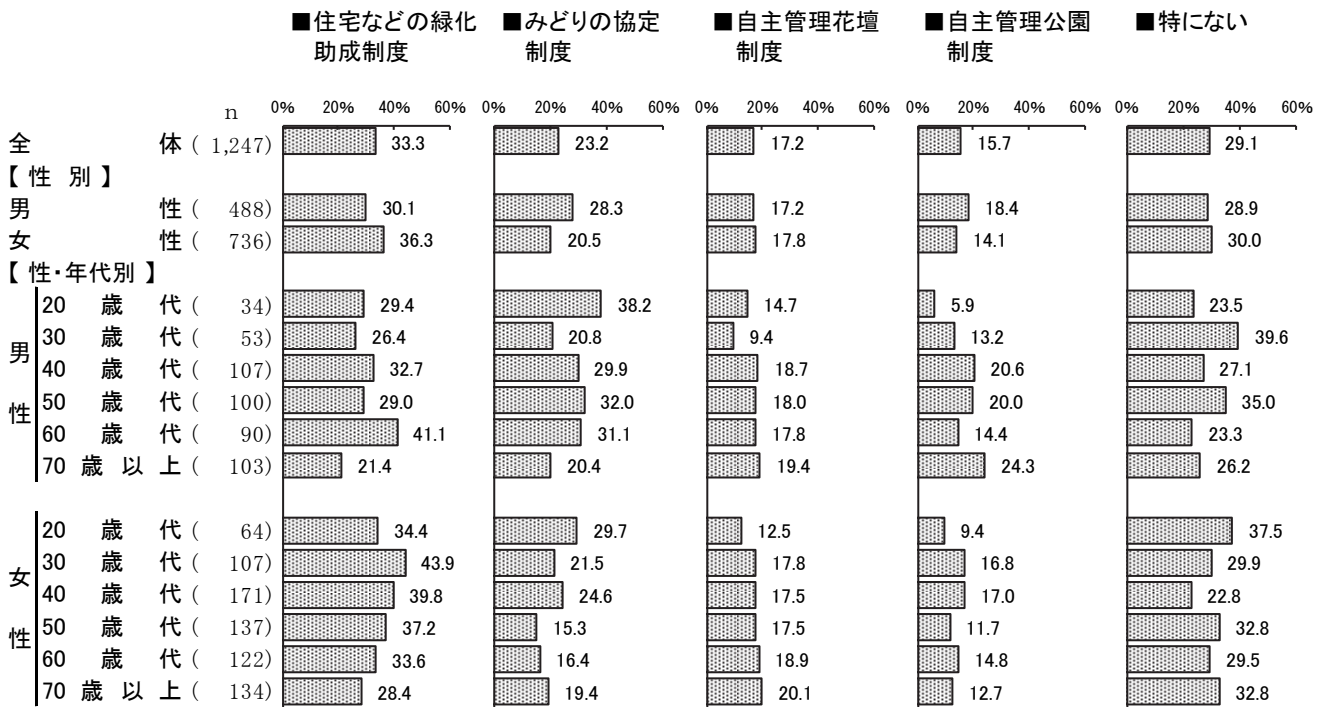
問36-2 練馬区が実施している、みどりに関する事業（問36-1の各制度）のうち、あなたは何に興味がありますか。（○はいくつでも）

図4-9-6 練馬区が実施している、みどりに関する事業のうち興味のある制度



練馬区が実施している、みどりに関する事業のうち興味のある制度について聞いたところ、「住宅などの緑化助成制度」（33.3%）が3割を超え最も多く、次いで「みどりの協定制度」（23.2%）、「自主管理花壇制度」（17.2%）、「自主管理公園制度」（15.7%）の順になっている。一方、「特にない」（29.1%）は約3割となっている。（図4-9-6）

図4-9-7 練馬区が実施している、みどりに関する事業のうち興味のある制度－性別、性・年代別



性別にみると、「住宅などの緑化助成制度」は女性の方が6.2ポイント高く3割台半ば、「みどりの協定制度」は男性の方が7.8ポイント高く3割近くとなっている。

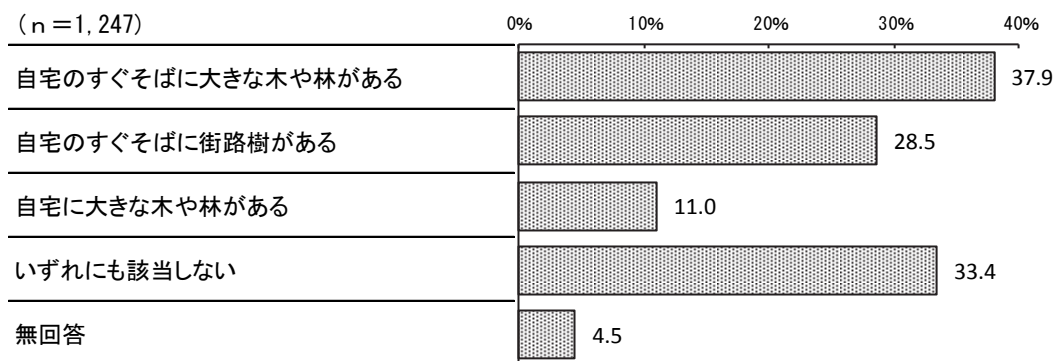
性・年代別にみると、「住宅などの緑化助成制度」は女性30歳代と男性60歳代で4割を超え、女性40歳代で約4割となっている。「みどりの協定制度」は男性20歳代で4割近く、男性50歳代・60歳代で3割を超えている。(図4-9-7)

(10) 自宅や周辺のみどりの状況

◇「自宅のすぐそばに大きな木や林がある」が4割近く

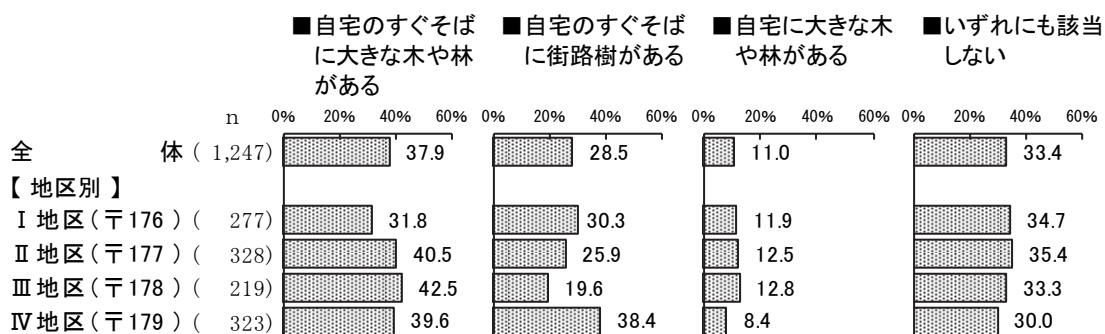
問37 ご自宅や周辺のみどりの状況について教えてください。(〇はいくつでも)

図4-10-1 自宅や周辺のみどりの状況



自宅や周辺のみどりの状況について聞いたところ、「自宅のすぐそばに大きな木や林がある」(37.9%)が4割近くと最も多くなっている。次いで「自宅のすぐそばに街路樹がある」(28.5%)、「自宅に大きな木や林がある」(11.0%)の順になっている。一方、「いずれにも該当しない」(33.4%)は3割を超えている。(図4-10-1)

図4-10-2 自宅や周辺のみどりの状況—地区別



地区別にみると、「自宅のすぐそばに大きな木や林がある」はII地区(〒177)とIII地区(〒178)で4割前半と多くなっている。「自宅のすぐそばに街路樹がある」はIV地区(〒179)で4割近くと多くなっている。「自宅に大きな木や林がある」はIV地区を除くすべての地区で1割を超えている。一方、「いずれにも該当しない」は全地区で3割台となっている。(図4-10-2)

